

MAEBASHI MACHINAKA TIMES

¥0
TAKE FREE

詩の未来へ —「現代詩手帖」の60年—

前橋文学館

4.27(土)~6.30(日)_9:00-17:00 (入館は16:30まで)※休館日:水曜

2019年6月に創刊60周年を迎える「現代詩手帖」。

時代の変化と共に詩の変化を見つめ、自らも変容しながら、一貫してジャーナリズムの立場で詩と批評の発信を続けてきた。本展は、詩人・萩原朔太郎の生地であり、1993年以来最も完成度の高い現代詩に萩原朔太郎賞を贈ってきた前橋において、「現代詩手帖」の60年を振り返る展覧会。その軌跡をたどりながら、いつも私たちのそばにあることばについて、これからの詩の未来について考える。

お問い合わせは前橋文学館(027-235-8011)へ。

【一般】400円 【高校生以下】無料 【障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名まで】無料

前橋 カラオケワールドカップ

6.2(日)_12:30-15:00

前橋中央イベント広場

前橋の日本語学校の留学生が日本の歌にチャレンジ。各国の紹介や料理もご用意。聴いて、食べて、知って、異なる文化を感じて楽しむ国際交流イベント。観覧無料。お問い合わせは前橋カラオケワールドカップ実行委員会(027-243-7271)へ。



ビールビバレッジ

6.29(土)~6.30(日)_11:30-20:30

前橋中央イベント広場

前橋の飲食店を中心にいろいろな美味しいが大集合。食べて飲んで、みんなで楽しい時間を共有しよう。メインステージでは会場を彩る音楽やイベントが催される。お問い合わせは株式会社五光前橋支店(090-3243-1079)へ。



他にもイベントいろいろ!

もっと知りたい方は、前橋のイベント情報が満載のサイトをCHECK! ▶▶▶

イベント
まえばし igoo
イター

火ノ鳥

会話がはずむ
弁天通りの
セレクトショップ。

MASTER 25.

木暮 悠太

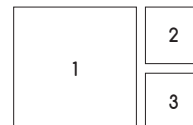
(こくれ ゆうた)

好きな食べ物

ラーメン

マイブーム

MARVEL



1.お店の名前は手塚治虫の漫画「火の鳥」から。シンプルでインパクトのある名前に惹かれたそう。

2.普遍的だけど一癖ある洋服を中心にセレクト。お気に入りを見つけてみよう。

3.いつもの暮らしをちょっと素敵に変えてくれそうな、かわいい生活雑貨も。

昔ながらの雰囲気の色濃く残す商店街、弁天通り。そんな、どこか懐かしさを感じる雰囲気に魅力を感じ、出店するお店が増えてきている。センスのいい洋服や雑貨などを扱うセレクトショップ「火ノ鳥」を営む、生まれも育ちも前橋の店主、木暮悠太さんもその魅力に惹かれ、お店をオープンした一人だ。「普遍的だけど一癖あるもの」をセレクトしたという商品は「これ、いいな」と手に取りたくなるような物ばかり。

店主とお喋りしながら自分に合ったアイテムを発見できるのも魅力の一つで、ついつい話し込んで時間が経ってしまう。中には世間話だけをしてくれる人もいたりとか。「10代の頃に入り浸っていた洋服屋で店主とファッションの話や、くだらない話をするのがとにかく楽しかった。聞か話全部が刺激的で、自分もそんなお店をつくりたいと思っていました」と語る木暮さん。若い人たちにとって、インターネット

でなんでも届くこの時代に、リアルなコミュニケーションをとりながら買い物を楽しむこと自体が貴重な体験かもしれない。「火ノ鳥」は、そんな少し前には当たり前だったカルチャーを、店主自らが選んだかっこいい商品と共に紹介してくれるお店。きっと心に刺さるものが見つかるはず。ぜひ一度、気軽に覗いてみてはどうだろうか。



「火ノ鳥」
群馬県前橋市千代田町3丁目4-9
027-289-2748
13:00~21:00
木曜、第二・三水曜定休